



2024年(令和6年) 3月7日 木曜日
きょうは何の日
消防記念日

埼玉新聞社 〒331-8686 さいたま市北區吉野町2-282-3
本社代表 048-795-9930

2024年3月 創立100周年
地域と共に100周年
感謝のボタンを未来へつなぐ
川口信用金庫

14 県歌の合唱音源更新
「おお 埼玉 埼玉 輝く 埼玉」の歌詞で知られる埼玉県歌の合唱音源が12年ぶりに更新された。

7 女子ボクシング界に旋風
10 家事男子応援へセミナー
11 川越まつり会館設備充実
15 被災地支援で軽トラ贈る

新型コロナウイルス感染症患者数(木曜日掲載)
2024年 第9週 (2月26日~3月3日、6日発表)
県全体1789人(前週比 -380)
定点当たり6.85人(前週比 -1.49)

笑顔でつなぐ 地域との架け橋
HIGROUP アイグループ
あすなろホーム

Weather forecast table for Saitama Prefecture with columns for date, weather, temperature, and precipitation probability.

埼玉県倫理法人会
一滴の水も、生命の糧
水はかけがえのない、地球の資源。
生きとし生けるものをかす水への恩を忘れず。

171自治体間に合わず 基幹業務システム25年末標準化

自治体の基幹業務に使う情報システムの移行について、デジタル庁は6日までに、政府目標の2025年度末までに、全体の約1割当たる171自治体間に合わない見込みだとの調査結果を発表した。都道府県では埼玉、大阪、鳥取、愛媛、長崎、大分の1府5県、政令指定都市は50市が含まれ、都道府県庁所在地など大規模自治体が目立った。

移行は全国一斉に進めており、以前から業者が見つからず間に合わないといった指摘のほか「財源が足りない」などの懸念も自治体から出ている。調査は昨年10月、全都道府県庁舎741市区町村を対象に行い、その後、状況を聞き取った。他にも間に合っていない自治体は、移行の進捗が遅い、移行の計画が不明確、移行の予算が不足しているなど、さまざまな理由が挙げられた。

Table showing the number of municipalities in each prefecture that do not meet the deadline for system standardization by October 2025.

現場の負担大きく 県猶予と「フォロワー」
自治体システム標準化の対応は、標準化は進んでいるが、現場の負担は大きく、県は猶予と「フォロワー」を認めている。

生活保護申請25万件 13年以降 最多 困窮、現役世代にも
2023年1~12月の生活保護申請件数が、現行の調査方式になった13年以降で最多。22年から7.6%増の25万5079件に上り、増加は4年連続。新型コロナウイルス禍による生活苦、物価高の影響が顕著な理由が挙げられている。

生活保護申請25万件

厚労省によると、貯蓄が減少したことで生活保護申請を選んだ人が増えているという。担当者は「コロナ禍の影響が長く続いており、増加傾向はしばらく続く」とみている。厚労省が発表した統計(23年3月までは確定値、同4月以降は速報値)に基づき、年間生活保護申請件数は23年12月の申請は1万8695件で、前年同月と比べて5.6%増えた。増加は12月連続。23年12月から保護を受け始めたのは1万8801世帯で、前年同月比7.2%増。以前から受けている人を含む支給世帯は0.4%増の165万5461世帯(3.5%減)だった。22年度の1カ月平均の確定値も公表した。申請は2万4751件で前年度と比べて、6.9%増えた。増加は3年連続。

火難はらう 東松山・箭弓稲荷神社
東松山市箭弓町の箭弓稲荷神社(前原利雄宮司)で6日、初年(はつまつ)大祭の幕開けを飾る火難(ひがた)が行われた。火難は、秋の「ふいご祭」に行われていたが、戦後の1949(昭和24)年の初年の日に市内の旧松山町で大火があったことから、大祭と併せて実施されるようになった。境内に特設された祭壇には砂でかたどった円形の炉に火がたかれ、四圍には神使の白狐が立ち、神事が行われた。

学力、自立育成へ連携 県教委 埼玉新聞事業社と協定
県教育委員会は6日、埼玉新聞事業社(さいたま市浦和区、浅沼領一社長)と「確かな学力の育成・自立する力の育成に関する連携協定」を結んだ。

県公立高校入試 68校で欠員補充
県教育委員会は6日、2024年度県公立高校入試において、68校で計2198人の欠員補充を実施すると発表した。全自治体は48校、151人となった。

現場の負担大きく 県猶予と「フォロワー」
自治体システム標準化の対応は、標準化は進んでいるが、現場の負担は大きく、県は猶予と「フォロワー」を認めている。

生活保護申請25万件 13年以降 最多 困窮、現役世代にも
2023年1~12月の生活保護申請件数が、現行の調査方式になった13年以降で最多。22年から7.6%増の25万5079件に上り、増加は4年連続。新型コロナウイルス禍による生活苦、物価高の影響が顕著な理由が挙げられている。

火難はらう 東松山・箭弓稲荷神社
東松山市箭弓町の箭弓稲荷神社(前原利雄宮司)で6日、初年(はつまつ)大祭の幕開けを飾る火難(ひがた)が行われた。火難は、秋の「ふいご祭」に行われていたが、戦後の1949(昭和24)年の初年の日に市内の旧松山町で大火があったことから、大祭と併せて実施されるようになった。境内に特設された祭壇には砂でかたどった円形の炉に火がたかれ、四圍には神使の白狐が立ち、神事が行われた。

学力、自立育成へ連携 県教委 埼玉新聞事業社と協定
県教育委員会は6日、埼玉新聞事業社(さいたま市浦和区、浅沼領一社長)と「確かな学力の育成・自立する力の育成に関する連携協定」を結んだ。

県公立高校入試 68校で欠員補充
県教育委員会は6日、2024年度県公立高校入試において、68校で計2198人の欠員補充を実施すると発表した。全自治体は48校、151人となった。

現場の負担大きく 県猶予と「フォロワー」
自治体システム標準化の対応は、標準化は進んでいるが、現場の負担は大きく、県は猶予と「フォロワー」を認めている。

生活保護申請25万件 13年以降 最多 困窮、現役世代にも
2023年1~12月の生活保護申請件数が、現行の調査方式になった13年以降で最多。22年から7.6%増の25万5079件に上り、増加は4年連続。新型コロナウイルス禍による生活苦、物価高の影響が顕著な理由が挙げられている。

Advertisement for 行田総合病院 (Yokota General Hospital) with contact information and location details.

Advertisement for さきたま抄 (Sakitama Shō) featuring a chef and a menu of traditional Japanese dishes.

Advertisement for a social welfare organization (社会福祉法人 埼玉のちの電話) providing support services.

Large advertisement for 'In-Home Point Acupuncture Treatment Textbook' (在宅点灸治療法の教科書) by Dr. Tsuneo Tsutsui, including contact information for Tsai Clinic.